

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		行政改革推進業務費[行政評価事務]										
予算科目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	7	企画費	事業番号	5	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	企画政策（企画）				課	行政改革推進担当			係	課長名	川田 貴之	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。									施策番号	行 - 2		
【施策名】 効果的でスリムな行財政運営の実現									総合計画書 (ページ)	122		
1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標）						
	①施策 ②施策内の事務事業 →					①施策数 ②事務事業数						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標）						
課題の把握、今後の方向性（課題解消の方策）が立案され、目標の達成に向けて、効果的、効率的に執行されている。					→ 施策の目標(指標)を達成できた項目/全施策の指標数							
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標）						
	①研修の実施（施策評価・事務事業評価） ②施策評価 ③事務事業評価 →					①研修参加者数（施策評価・事務事業評価） ②施策の目標（指標）を達成した項目数 ③事務事業評価数						
		単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標					
			平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績		令和4年度目標	令和5年度目標				
3 経費	対象指標	①の数值	事業	①32 ②457	①32 ②468	①32 ②490		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値（退職手当組合負担金、共済費も含む。）				
	成果指標	②の数值	%	29.5	26.3	20.0						
	目 標	②の目標値	%	28.7	29.5	26.3						
		目標値設定の考え方 前年度実績以上を目標とする。										
活動指標	③の数值	① 人 ② 施策 ③ 事業	① 73 ② 28 ③ 457	① - ② 25 ③ 468	① - ② 19 ③ 490							
3 経費	事業費（実績）		円	918,653	916,579	1,223,332						
	財源	一般財源	円	918,653	916,579	1,223,332						
		特定財源（国・都・他）	円	0	0	0						
		（うち受益者負担）	円	0	0	0						
	人件費（目安）	所要人数(再任用以外)	人	0.6	0.3	0.3						
		所要人数(再任用)	人									
職員人件費(再任用以外)		円	4,986,000	2,514,000	2,475,000							
事業費+人件費		円	5,904,653	3,430,579	3,698,332							
4 環境変化等	(1) 開始年度		平成18年度									
	(2) 環境の変化 ・平成18年度開始。職員の意識改革、成果重視の行政経営を目的とした行政評価制度を導入した。 ・評価事業数を徐々に増やし、平成24年度から全事務事業を対象としている。 ・2年間の試行を経て、平成26年度から外部評価を実施した。また、第四次基本計画に体系づけられた施策の成果を認識し、評価時点の課題に対し今後の方向性（対策）を立案するため、平成26年度に施策評価を導入した。 ・行政評価研修（施策評価・事務事業評価）は、隔年で実施することになった。 ・事務事業評価表（振り返りシート）の評価（事業）単位の整理や、評価表の記述の精度の向上を図ることとあわせて、市民事業評価会議の運営方法を見直すこととなっている。											

